

## 平成30年 9月の思いやり通信

- (1)  太陽光発電 真夏の支え
- (2)  進む温暖化、異常気象に拍車 動植物の絶滅加速も
- (3)  世界最大の洋上風力発電 三菱重工 建設費下げ普及促す
- (4)  プラスチック 代替え後押し 環境省 紙ストローなどに補助金
- (5)  太陽光パネル設置 規制 神戸市、防災対策で条例案



### (1) 太陽光発電 真夏の支え

#### 猛暑なのに節電要請いらず、なぜ 出力ピーク、需要と時差

- ・記録的な猛暑が続く日本列島。エアコン使用が増えて電力需要は伸びているにもかかわらず、政府が国民に節電を要請するような事態にはなっていません。
- ・ここ数年で急速に普及した太陽光発電。東日本大震災後は経済産業省が夏に節電を要請していましたが、2016年以降は見送りが続きます。
- ・国内全体で電力需要が減った影響も。震災を機に節電意識や家電の省エネ化が進み、日本の夏のピーク時の需要は2010年度に1億7800万キロワットでしたが、2016年度は約12%減。
- ・電力は貯められず、蓄電池も普及が進まないため、昼間の供給に余裕はあっても、夕方に太陽光発電が減るタイミングで需給を安定させる作業が今や必須です。

(2018年8月11日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



## (2) 進む温暖化、異常気象に拍車 動植物の絶滅加速も

### 2040年に1.5度高く IPCC予想

- ・政府間パネル（IPCC）は1988年、国連環境計画（UNEP）と世界気象機関（WMO）によって発足。温暖化を科学的に解明し、地球環境や社会、経済への影響を予測。
- ・世界の平均気温は上昇し続け、100年あたり約0.73度の割合です。
- ・温暖化は「疑う余地はない」と結論付けました。平均気温の上昇がCO<sub>2</sub>の累積排出量とほぼ比例することなどを根拠に挙げます。
- ・気温は2017年時点で産業革命前より1度上昇し、2040年ごろに1.5度に達すると指摘。
- ・猛暑や豪雨などの異常気象が増え、動植物の絶滅は避けられないと予想します。
- ・1.5度未満にするには、今世紀半ばまでにCO<sub>2</sub>排出を実質ゼロにする必要があるといます。

（2018年8月17日 日本経済新聞記事から抜粋引用）

## (3) 世界最大の洋上風力発電 三菱重工

### 建設費下げ普及促す

- ・三菱重工業は、世界最大となる出力1万キロワット超の洋上風力発電機を実用化します。
- ・超大型化でコストを3年前に比べ約4割下げます。
- ・世界の洋上風力発電の合計発電能力は約1900万キロワット。太陽光発電の約5%、陸上風力の約3%にとどまっています。

（2018年8月18日 日本経済新聞記事から抜粋引用）



#### (4) プラスチック 代替え後押し

##### 環境省 紙ストローなどに補助金

・環境省は使い捨てプラスチック製のストローやレジ袋を、自然界で分解できる製品に切り替えるよう後押しします。

・紙製や生分解性のバイオプラスチックを製造する企業に補助金を出します。

##### ※バイオプラスチック 植物由来、コスト課題

・土や海などの自然環境中の微生物によって分解が進む生分解性プラスチックのうち、主に植物を由来とするもの。デンプンや糖の多いトウモロコシやサトウキビなどから製造。

・分解された後は水と二酸化炭素だけが残るため、回収や処理の必要がありません。

・耐久性やコストが課題。分解されやすく、使用中に壊れてしまう恐れ。生産コストも既存の使い捨てプラスチックに比べて数倍になるとされます。

(2018年8月24日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

#### (5) 太陽光パネル設置 規制 神戸市、防災対策で条例案

・神戸市は、事業用の太陽光発電パネルの設置に防災面から規制を設ける方針。

・出力10キロワット以上の市内の施設を対象に、届出を義務付ける条例を制定し、2019年度の早い時期の施行を目指します。太陽光発電に特化した規制条例は政令指定都市で初めて。

・急斜面や緑地の保存区域などではパネルの設置を禁止とする予定。

・すでに設けたパネルについても、管理状況の報告を義務付けるほか、事業終了後の放置の対策も実施します。

・不十分なメンテナンスなどが課題となる例もありました。

(2018年8月24日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



## エコライフ — 断熱性を高める

### 断熱材の種類

#### ☆充填断熱

- ・日本の多くの木造の建築物では、柱を立てて石膏ボードを張っていく在来工法を採用。
- ・在来工法での断熱は多くの場合、充填断熱と呼ばれる断熱手法をとります。
- ・柱と柱の間に繊維系の断熱材を入れたり、発泡させた樹脂による断熱材を入れます。
- ・防湿シートによって室内からの湿気を防ぎ、外側には、雨の侵入を防ぎつつも内側から湿気を逃がすことができる透湿防水シートを張ります。
- ・コストパフォーマンスの高い断熱方法です。

#### ☆外張り断熱

- ・パネルを組み合わせて家を造っていく場合に、外張り断熱を採用することがあります。
  - ・断熱材自体が湿気を含みにくいボード状のものを採用します。
  - ・ボードとボードの継ぎ目をテープで止めて、隙間をなくすように施工します。
- 外壁材を除く家の構造材すべてをすっぽり包み込むため、断熱材以外から熱が入り込むことを極力避けることができます。

(高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋)

テーマは「**思いやり**」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 5

